

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選	授業担当者 Instructor
情報倫理 (教職関連科目 必 高等学校 情報)	共通	1年・後期	2単位	必修	中山彰信 橋爪善光
履修の前提条件	情報産業、マスメディアの動向に注意し、著作権侵害事件などの報道に注意を払うこと。				
授業概要 (Course Outline)					
現代は文明の発達によって文化の喪失的現象が起こっている。倫理は人間社会の文化の上に発達しているものであった。しかし、現代社会が文明の発達によって複雑な社会となり、人々の思考も複雑になっている。その中で情報技術の発達はめまぐるしく、人と人の対面的社会からサイバースペースによる空間の社会の到来により人々の心が大きく変化している。この情報倫理は、情報を巡る困難な社会の中で人として生きる道を考察するものである。					
授業を通して修得できる力 (Competency Goals)					
知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解 Multiple Culture / Different Culture				
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解 Human Culture / Society / Nature				○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル Reading / Writing / Speaking / Listening				○
	数量的スキル Mathematics				
	情報リテラシー Information Literacy				
	論理的思考力 Logical Thinking / Creative Thinking				○
	問題解決力 Problem Solving				○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神 University Founding Philosophy				
	自己管理能力 Self-management				○
	チームワーク Teamwork				
	リーダーシップ Leadership				
	倫理観 Ethical Sense				○
	市民としての社会的責任 Social Responsibility				○
	生涯学習力 Lifelong Learning				
到達目標 (Objectives)					
情報社会の中であって、確かな人間として道を求めることをテーマとする。また、ネットワーク時代の情報倫理に関して十分な知識を習得し、実践することができる。					
事前学習の内容	最近のメディアの動きに注意し、ニュースによる社会の問題をまとめる。				
事後学習の内容	問題点の経緯の分析を試みてノートに整理する。				
能動的学習【アクティブラーニング】の内容 (Active Learning)					
メディアの動きに設定したテーマに基づいてディスカッションを行います。積極的参加を望みます。また、情報社会から自主的テーマなどについて発表していただきます。					
教員との連絡方法・オフィスアワー (Office Hour)					
連絡、問い合わせ、相談等は研究室(273 中山)か研究室(361 橋爪)にて受け付けております。					
その他 (Others)・外部試験との関連・学習の確認(ポートフォリオの作成と提出)について					
講義のカーボン・コピー・ノートを毎時講義終了後に提出していただきます。 学習の確認:ポートフォリオシート「科目別履修確認チェック表」に必要事項を記入し最終講義時に提出して下さい。					

授業計画 (Course Schedule)			
テーマ Theme			
第1回	はじめに(講義の概要、受講上の諸注意)		
第2回	情報倫理について(情報社会の問題点を考える)		
第3回	倫理の意味するもの(人間の学問として)		
第4回	現代人の倫理観について		
第5回	情報化の成立(産業の変遷)		
第6回	情報技術の発展と情報社会の素描		
第7回	情報社会の問題		
第8回	情報ネットワーク社会の特徴		
第9回	ネットワーク犯罪(事例)		
第10回	ネットワーク犯罪(対策)		
第11回	ネットワーク時代のモラル(ネチケツ)		
第12回	ネットワーク時代の心構え		
第13回	ネットワーク時代のリテラシー		
第14回	情報ネットワーク社会の展望		
第15回	まとめ		
第16回	定期試験等		
教科書 (Textbooks)			
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBNコード ISBN Code
レジメ、プリント配布			
参考文献 (Reference Books)			
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBNコード ISBN Code
情報倫理概論 現代の倫理的問題	私立大学情報教育協会 長友 敬一	中西出版	
成績評価方法 (Grading Criteria / Method of Evaluation)			
定期試験60% レポート10% 平常点(カーボン・コピー・ノート等)30% 特に毎時間毎のカーボンコピーノートが大切 到達目標・・・情報社会の解明			